

タイトル	カルデロンの劇芸術：聖と俗の諸相				
著者名	佐竹謙一	出版者	国書刊行会	発行年	2019
請求記号	962K 1239	資料ID	1238489		

✿先生からの推薦資料紹介✿

本学名誉教授であられる佐竹謙一先生が執筆された書物、
『カルデロンの劇芸術』は南山大学学術叢書として2019年に出版された研究書
です。

佐竹先生は南山大学外国語学部において長年にわたってスペイン文学、スペイン
語、
スペイン文化を教授され、研究と講義を通じて本学の知的発展に貢献されてきま
した。

『スペイン黄金世紀の大衆演劇』（三省堂、2001年）や
『スペイン文学案内』（岩波書店、2013年）など多くの研究書を上梓されてき
た

佐竹先生の著作の中から、本書を推薦図書に指定する理由は、
佐竹先生がライフワークとして研究されてきたスペイン黄金世紀を彩る劇作家、
ペドロ・カルデロン・デ・ラ・バルカ（1600-1681）の創造した劇作品に内
在する

詩的宇宙を俯瞰的視座に基づいて、見事に分析されているからです。

『カルデロンの劇芸術』には以下のような説明文が帯付けされています。

「シェイクスピアを凌駕するほどの技法を披露し、17世紀のバロック演劇に華を
そえた

カルデロン。広大無辺な想像のキャンヴァスに、聖と俗の劇世界を洗練された筆
致で

描出し、バロック演劇に特有の華やかなコントラスが織りなす百花繚乱の劇宇宙
を

創出した、カルデロン独特の劇芸術の神髄に迫る！」

合計300頁から成る本書において、佐竹先生はスペイン黄金世紀演劇の完成者と
称される

カルデロンの劇世界を深く洞察し、テーマとしての名誉、バロック演劇の技法、
キリスト教的要素、詩的要素、メタファー、シンボルの諸相などを
鋭く解析しておられます。佐竹先生は以下のように記されています。

「カルデロンが他の劇作家たちの筆さばきと大きく異なるのは、
バロック特有の様式である光と影や、夢と現実との混沌たる世界、自由意志と情
念、

自由意志と運命などのモチーフを、イメージやシンボルやメタファーが交錯す
る

詩的世界で包み込み、色彩豊かな劇空間を作り上げている点にある。」（同書、
299頁）

『スペイン文学案内』を手にとる多くの学生たちがさらに一步踏み込んで、
深遠なカルデロンの詩的宇宙の昇華に触れるために執筆された本研究書は
一読に値する優れた書物です。

以上のような理由から、私は『カルデロンの劇芸術』を、
外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科の推薦図書に指定いたします。

